

2月6日の昼下がり、開催中の南桂子展「まなごしの彼方」の関連イベントとしてワークショップを開催しました。第一回目のこの日はスタイリストの大橋利枝子さんを講師に招き、南作品に登場する木と花をモチーフに毛糸の刺繍をするピンクッションを作りました。南桂子の作品に囲まれた会場で行なわれたワークショップの様子を少し紹介いたします。



最初は大橋さんが南作品から選んだモチーフの図案を布に描き写すところから。



刺繍が始まると皆さん黙々と作業に没頭。集中して無心になれる時間。



だんだん完成してきました。慣れてる方はどんどん自分流にアレンジ。



最後は大橋さんが南作品のイメージで選んだお菓子でお茶会をしました。写真は「ホルンディッシュ・カカオシュトゥーベ」のケーキ、マルガレーテクーヘン。カットするのがもったいない可愛さ。



シックな着物姿で講師をする、スタイリストの大橋さん。参加者からは「刺繍は苦手だと思っていたけど、毛糸ならやりやすくて楽しくできそう。」という声も。

ワークショップ——つくるたのしみ  
第一回 毛糸で刺繍するピンクッション  
講師：大橋利枝子（スタイリスト）



上：大橋さんが作成したピンクッションの見本。刺繍初心者でも楽しんで作れるものを提案いただきました。  
左：モチーフの1つになった南桂子の銅版画作品。下に描かれている木を毛糸で刺繍しました。

街と6羽の飛ぶ鳥  
南桂子  
1963年  
カラーエッチング

つくった刺繍  
見せてもらいました。



同じモチーフでも毛糸の選び方や針の刺し方で個性が出るのが刺繍の面白いところ。今回は時間が足りずクッション制作まではたどりつけませんでしたが、「これならあとは自分で完成できる！」と皆さん笑顔で持ち帰っていきました。